

## 平成 29 年度鹿児島大学公開講座「新しい総合計画づくり」 垂水高校生ワークショップ 開催結果報告

### 1. 目的

第 5 次垂水市総合計画を策定するにあたり、策定過程において市内唯一の高等学校である垂水高等学校の生徒が参加し、生徒自身がこれからのまちづくりについて提案する機会をもつことで、“垂水らしさ（垂水市の魅力や特徴）”について生徒に気づきをもたらし、垂水市に対する愛着・誇りの醸成を図るとともに、公開講座でまとめられた意見・提案を、計画素案に反映させるため。

### 2. 開催概要

開催概要は以下のとおり。

#### 〔垂水高校生ワークショップ開催概要〕

日時	平成 29 年 7 月 11 日（火） 11 時 05 分～12 時 55 分 3・4 限目
場所	垂水高等学校内
対象者	垂水高等学校 3 年生 34 名
テーマ	どういうまちであれば、垂水を働く場・生活の場として選択するのか？
講師	鹿児島大学法文学部法経社会学科 小栗 有子 准教授
主な内容	(1) 開会／市長 あいさつ ／黒木 加代子 校長 あいさつ (2) 公開講座（ワークショップ） ① ガイダンス ② ワークショップ ③ 班のまとめ ④ 班の発表 ⑤ 講評 (3) 閉会／総評

### 3. ガイダンス、グループ討議要旨

以下、ガイダンス及びグループ討議と講評の要旨をまとめている。

#### (1) ガイダンス「公開講座の目的」

～鹿児島大学法文学部法経社会学科 小栗 有子 准教授

##### 公開講座とは？

皆さんは、大学の公開講座にどのようなイメージをお持ちでしょうか。おそらく、年配の教授が講義をするイメージがあるかと思う。確かに、そのような大人向けの公開講座もあるが、本日の主役は皆さんと皆さんの班に入って一緒にワークをする行政職員である。

##### 総合計画とは？

総合計画とは、まちづくりの方向性を表した行政（市役所）の計画である。

市役所は、お金と税金によって雇われている職員、権限を持っている。それらは垂水市の皆さんの住民福祉（健康や福祉）を高めるためにある。

では、この限られたお金、人、権限をどう使うのか？

赤ちゃんが生まれてから亡くなるまで、生涯の生活全般が市役所の仕事の範囲であり、そのために市役所には様々な課がある。

本日ここに来ているのは企画政策課という、総合計画づくりをしている課のメンバーである。10年後の垂水市の在り方、つまり皆さんが27、28歳になったときに、どんなまちでありたいのか、そのまちづくりの計画が総合計画である。

10年前も、公開講座で、市民と行政職員と一緒に悩み考えながら第4次総合計画を作った。10年前と同じように、10年後の本日、また、これからの10年を考えるのが、今日のこの場である。

この10年間で達成できたことと達成できなかったことがあり、課題として挙がっているのは、①医療・介護体制、②働く環境、③人口減少である。この3つがこれから取り組むべき大きな仕事だということがはっきりしている。

##### 今回の公開講座の目的

7月9日に一般市民（大人）向けの公開講座を開催し「今住んでいる若者（中高生）にとっての働くことのニーズは何であり、そのニーズに垂水市はどう応えることができるだろうか」をテーマに真剣に語り合った。その結果、職場の選択肢の拡大や雇用の安定など様々な意見が出たが、最も多く挙げられたのが、若者はどう思っているのか、その生の声をもっと拾わなければならない、ということだった。そこで、今日の公開講座の目的は、高校生生の声を直接聞きたい、ということである。

3年生の皆さんが、垂水高校を旅立つにあたり、将来、自分はこういった生き方をしたいのか、こういった人たちに囲まれて、こういった仕事をしながら生きていきたいのか、考える機会にしてほしい。その中、垂水がこういった場であればいいか、仲間と行政職員の方と一緒に語り合ってもらいたい。

##### 時間の使い方

1時間目の班活動は、皆さん1人1人が個人で考える時間と、その考えたことを共有す

る時間とし、2 時間目は共有したことについて、みんなと話し合い、話し合った内容を確認、班ごとに発表するという流れで進める。

### 働く場・生活する場の基準

働く場・生活する場を考える基準について、それは 20 代の頃や、家族・子供がいるとき、子供が巣立って高齢者になったとき、あるいは結婚しないという選択もあるかもしれないが、そういった人生の段階でどういったことを考えればよいのか、ということである。

都市で生きる、ということも場の選択肢のひとつである。土地の面積としては都市部と農村部は半々であるが、日本の人口の 90%が都市部に集中し、農村部は 10%に満たない。

### 暮らすための良い地域の条件

暮らすのによい地域の条件として、まず「働く場、きちんと稼げる場」がほしいと、皆さんは考えるだろう。これは経済の部分である。

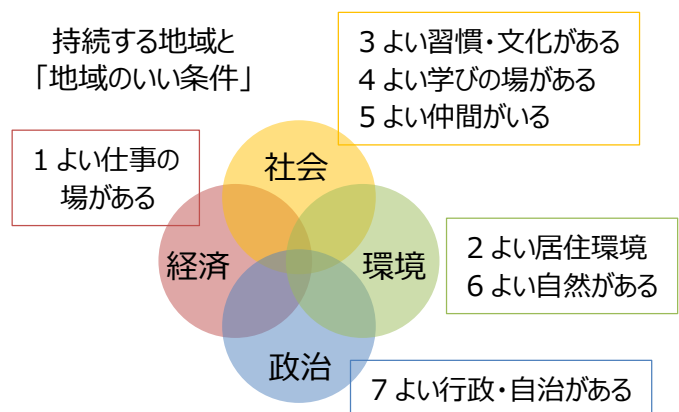
何のためのお金を得るのかというと、幸せに暮らすためである。そこには、「よい習慣・文化があること」、自分の学びたいこと、興味があることのできる「よい学びの場があること」、「よい仲間がいること」、最低 3 人腹を割って話せる友達がいることがある。

さらに、「よい居住環境があること」、「よい自然があること」が、働く場以外で、生きるのに大事な要素である。

最後に、「よい行政・自治があること」がある。地域がこうあって欲しい、お金の補助が欲しい、新しい商品を開発して売り出したいから手助けしてほしいなどの様々な願いに、お金と人と権限を持っている行政が向き合い、自分たちのやりたいことが実現できることが、よい自治である。

先日の公開講座では、今垂水市に住んでいる若者が何を求めているかだけでなく、新しく垂水に来た人、U・I ターンで来た人がきちんとしてここで仕事を持つためにはどういったことが必要か、また、どうしたら地元の人あるいは観光客がリピーターとなって地元の産品を購入してもらえるか、そういった話もした。例えば U・I ターンであれば、垂水弁が分からない人のために垂水弁講座をしたほうがいい、他に家賃の補助や、地元のものを消費するために、まとまって買える場所、高齢者向けの交通手段、お届けシステムなどあったらいい、といった意見が挙げられた。皆が協力し合って垂水の魅力を高めないと、きっと皆さんも垂水に住もうと思わないだろうと真剣に議論した。まさに良い行政の自治である。

そういった、自分がこれからどういう場で生きたいのか考えていきたいというのが今回の趣旨である。



## (2) ワークショップ

### ① テーマ

「どういうまちであれば、垂水を働く場・生活する場として選択するだろうか？」

各自が「10年後の垂水にも残ってほしいモノ・コト・人」及び「10年後の垂水には変わってほしいモノ・コト・人」を付箋に書き出し、班のメンバーで共有した。そこから発展させ、「将来、私が垂水を「働く場」「生活する場」として選択する場合の条件」をまとめ、班ごとに発表を行った。





② 各班のワークまとめ

1班

どういうまちであれば、  
垂水を働く場・生活する場として選択するだろうか？

10年後の垂水にも  
**残ってほしいモノ・コト・人**

- 自然
    - ・緑、景色
    - ・きれいな水
  - 歴史
  - 垂水高校
  - 特産物（カンパチ・ブリ）
  - 地域との交流
  - ボランティアの精神
- ・桜島のある風景

10年後の垂水では  
**変わってほしいモノ・コト・人**

- 交通
    - ・いつでも帰れるようにバスの便数を増やす
    - ・市外からのフェリー代が高い
  - 店
    - ・シャッター街を減らし、新しい店に変える
    - ・娯楽施設などの店
    - ・おしゃれな雑貨屋
    - ・若者向けのカフェ
    - ・パチンコ店を減らす
  - 観光名所や遊園地
  - 近くに病院を増やす
  - 若者、高齢者が出来ない仕事
  - 歩道（高齢者）
- ・本屋  
・スポーツ店、服屋

**将来、垂水を「働く場」「生活する場」として選択する場合の条件**

- ① 特産品・水を生かした若者の働ける場が確保され、多様な職種があること
- ② 雑貨屋、服屋などお店を増やすこと
- ③ きれいなマンションや、高齢者が安心して暮らせる施設があり、住環境が整っていること

どういうまちであれば、  
垂水を働く場・生活する場として選択するだろうか？

10年後の垂水にも  
**残ってほしいモノ・コト・人**

- 自然
  - ・海がある
  - ・自然が豊か(海・山・川)
- 海と食をコラボさせるべき！
- インスタを意識すべき！
- カンパチ
  - ・魚（カンパチ）がおいしい
  - 手頃に食べられる商品づくり
  - さばき方教室
- イベント
  - ・イベントが多い
  - ・夏祭りがある
- 人が少ない→人付き合いが大事

10年後の垂水では  
**変わってほしいモノ・コト・人**

- 灰が多い
- 交通の便が悪い
  - ・バスの便が少ない
  - ・昼の便が少ない
- 買い物できる店が少ない、近くで物が手に入るようにしてほしい
- 若者向けの店が少ない
  - ・店が少ない（カフェ、本屋、布屋）
  - ・プリクラ機がない
  - ・若い人が行きそうな店がない
  - ・カラオケ、ゲームセンターがない
- イルミネーションの工夫がほしい(若者向け)
- 病院がない
- 高校に水産科があれば、もっとカンパチを PR できる→地元就職につながる
- おしゃれな自然と食を生かすべき

将来、垂水を「働く場」「生活する場」として選択する場合の条件

- 豊かな自然とおいしい食を活かすこと
- 垂水市の積極的に「垂水」を情報発信して PR すること

どういうまちであれば、  
垂水を働く場・生活する場として選択するだろうか？

10年後の垂水にも  
**残ってほしいモノ・コト・人**

- 店
  - ・Joyfull    ・タイヨー    ・ラーメン屋
- 病院
- イベント
  - ・花火        ・カンパチ祭り(人が集まるから)
- 温泉
- フェリー
- 自然
- 垂水市を残したい

10年後の垂水では  
**変わってほしいモノ・コト・人**

- 垂高
- 漁港
- 施設
  - ・市体育館                    ・公園
  - ・アパート（住む人を増やしてほしい）
- 交通
  - ・フェリー料金が高い
- 自然
  - ・猿ヶ城（市外の人向けにもっと観光 PR）
  - ・泳げる場所がない（若い人のレジャーと高齢者の健康づくりとして、泳げるところを整備してほしい）

将来、垂水を「働く場」「生活する場」として選択する場合の条件

- 医療・介護
  - ・病院を増やす（雇用・医療の充実）                    ・病院の待ち時間を減らす
  - ・介護する人・される人のために老人ホームを整備する  
（→利用者は60歳以上、20～50代の働く場も確保できる）
- 就労環境
  - ・20～40代の働く場を増やす    ・シャッター街を解消する
- 農業・漁業
  - ・農業の特産品開発する（→農業の就労者が増える）
  - ・かんばちなど特産品のPRを積極的に行う  
（→市外の人たちに向けたPRになり、20代以上の垂水市民の働く場も確保できる）



どういうまちであれば、  
垂水を働く場・生活する場として選択するだろうか？

10年後の垂水にも  
**残ってほしいモノ・コト・人**

- 自然
  - ・海（海岸）
  - ・緑・水
- おいしい魚が食べたい

10年後の垂水では  
**変わってほしいモノ・コト・人**

- 店
  - ・買い物できる場所を増やしてほしい
  - ・近くに本屋が欲しい
  - ・スポーツジム
- 設備
  - ・学校の設備を整えてほしい
  - ・市体の設備を良くしてほしい
- 交通
  - ・バスの便を増やしてほしい
  - ・フェリー代安くしてほしい

将来、垂水を「働く場」「生活する場」として選択する場合の条件

- ここにしかない自然・食があること
- 商店の充実していること（→買い物の楽しさ）
- 施設が充実していること
- 交通機関が充実していること

どういうまちであれば、  
垂水を働く場・生活する場として選択するだろうか？

10年後の垂水にも  
**残ってほしいモノ・コト・人**

- 垂水フェスタ、地域の祭り
- 温泉
- 豊かな自然
- 自然を生かした活動
- 水産業
- プリ・カンパチ
- 垂水高校
- フィッシュガール

10年後の垂水では  
**変わってほしいモノ・コト・人**

- 店
  - ・おいしいパン屋さん
  - ・おしゃれなケーキ屋さん
  - ・ショッピングセンター
  - ・シャッター商店街を有効活用してほしい
- 遊ぶ場所がほしい
  - ・泳げる所がほしい
- 病院（専門）
- 垂高
  - ・垂水高校にクーラーを！
  - ・プール
- イベント
  - ・イベントを増やしてほしい(市民交流の機会)
- 人口を増やして欲しい
- 垂水 PR の CM を全国に流す
- 職種が少ない
- 交通手段を増やしてほしい

将来、垂水を「働く場」「生活する場」として選択する場合の条件

- 多様な職種があること

どういうまちであれば、  
垂水を働く場・生活する場として選択するだろうか？

10年後の垂水にも  
**残ってほしいモノ・コト・人**

- 自然
  - ・自然（都会と差別化）・食
- 温泉
- 水産業
  - ・カンパチ、ブリ日本一を
- 人
  - ・元気な高齢者
  - ・地域の人との関わり（助け合い）
- 店、施設
  - ・ラーメン屋
  - ・道の駅
  - ・市の体育館
- 観光名所
- 垂水フェスタ

10年後の垂水では  
**変わってほしいモノ・コト・人**

- 交通手段
- 病院の数を増やす
- 施設
  - ・市の体育館の設備、道具
  - ・古い施設
- 垂高のエアコン
- 健康づくり
  - ・ジムや健康ランドを整備してほしい
- 冬のイベントの数
- 高齢者向けサービスを整備・充実してほしい
  - ・みんなで高齢者向けのイベント
  - ・高齢者のアイドルグループ（PR）
  - ・買い物代行
  - ・高齢者向けのバス
- 集いの場を作ってほしい
- 屋台村

将来、垂水を「働く場」「生活する場」として選択する場合の条件

- 垂水に美味しいものを、手軽に食べることができること
- 市単独での医療費の補助があること（子育て環境・医療福祉体制の充実）
- 商店街に活気があること
- 若者向けの服屋やカフェが多くあること

### ③ 総評

#### ～事務局 企画政策課 協副主幹

今回は貴重な意見、アイデアを多数いただいた。すぐにできる、とは言えないが、市役所職員、市民と話し合いながら、高校生の皆さんのアイデアを少しでも実現できるようにしたい。10年後の垂水がどうなっているか、愛着を持ち気にかけてほしい。

#### ～鹿児島大学法文学部法経社会学科 小栗 有子 准教授

ガイダンスで、「いい地域の条件」を紹介したが、班の発表で、温泉や水、カンパチといった「自然」が多く挙げられた。それは、垂水市にしかないものである。それらを「食べたい」や「遊びたい」という言葉がキーワードとして出てきた。印象的だったのは、若者は若者なりにその地域にある自然、習慣や文化を楽しめる地域であり、高齢者にとっても住みよい地域であること、が皆さんの共通した思いなのではないかと感じた。

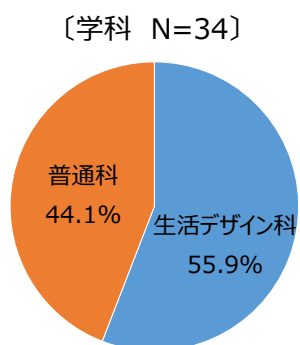
これから皆さんがどこに向かうか、まさしく切り開いていくことであるが、垂水は皆さんの気持ちを受け止めて、まちづくりをしていきたいと考えている。皆さんが帰ってくる場所がここにあるということはぜひ覚えていていただきたい。

#### 4. 振り返りシート アンケート結果

参加者には、公開講座に参加した感想やワークショップで感じたことなどを聞く振り返りシートを提出してもらった。

振り返りシートのアンケート結果は以下のとおり。

##### (1) 回答者の属性

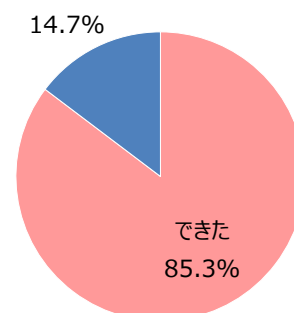


##### (2) 調査結果

- ① 公開講座を受けたことで、「働くこと」や「暮らすこと」について、これまでよりもイメージすることができたか？

公開講座を受けたことで、「働くこと」や「暮らすこと」について、これまでよりもイメージすることができたかについて、「できた」が85.3%で8割以上となった。「できなかった」は14.7%だった。

- 〔①「働くこと」や「暮らすこと」について、これまでよりもイメージすることができたか？ N=34〕



② 班活動を通して、垂水市を将来「働く場」「生活する場」として選択する場合の重要な条件は、何だと考えたか？（複数回答）

垂水市を将来「働く場」「生活する場」として選択する場合の重要な条件は以下のとおり。

（ ）内は挙げられた意見の数である。商業施設が多くあること（10件、回答者の29.4%）や雇用の場の充実（9件、26.5%）が多く挙げられた。

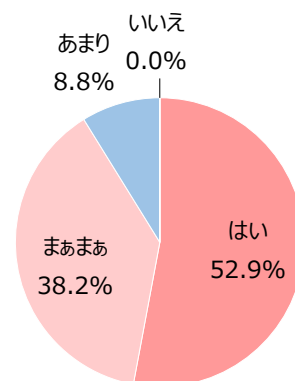
〔垂水市を将来「働く場」「生活する場」として選択する場合の重要な条件〕

カテゴリ		条件	
施設(18)	商業施設 (15)	増やす(10)	買い物ができる場所の増設 お店を増やす
		若者向け(4)	若い人が訪れたいような店を作る スポーツジムを作ったり、洋服屋さんを作った方が、若者が どんどん増えていって、お店を増やすべきだと思いました
			多種(1)
		娯楽施設(1)	娯楽施設
	公共施設(1)	公共の施設を増やす	
	その他(1)	施設の充実	
	雇用(13)	場の確保(9)	働く場所があるか 働く場所の充実 働くところが多くある所
環境(2)			就労場所 働く場の環境
			多様な職種(2)
自然(4)		自然 カンパチや自然の豊かさを残す 環境	
	住環境(3)	住む家の質 マンション アパートの設備	
		生活利便性(3)	生活していくのに不便はないか みんなが暮らしやすい町
交通利便性(3)			交通で不便がないか 交通の便の改善
	医療(2)	病院を増やすこと	
地域交流(1)	地域住民との交流		
特産活用(1)	垂水の特産品を生かしたお店を作り、そこで若者を雇う		
にぎわい(1)	シャッター街の解消		
人(1)	若い人の力		

③ 班活動を通して、考えが深まったり広がったりしたか？

班活動を通して、考えが深まったり広がったりしたかについて、「はい」が52.9%で最も多く、「まあまあ」(38.2%)と合計すると91.1%と9割以上が『はい』と回答している。一方、「あまり」は8.8%で、「いいえ」は0%だった。

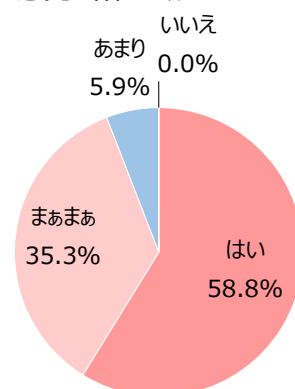
〔③班活動を通して、考えが深まったり広がったりしたか？ N=34〕



④ 班活動では、自分の意見を話せたか？

班活動では、自分の意見を話せたかについて、「はい」が58.8%で最も多く、「まあまあ」(35.3%)と合計すると94.1%と9割以上が『はい』と回答している。一方、「あまり」は5.9%で、「いいえ」は0%だった。

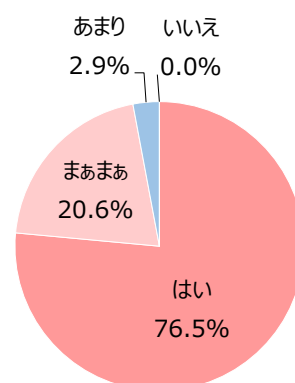
〔④班活動では、自分の意見を話せたか？ N=34〕



⑤ 班活動では、自分の意見を聞いてもらえたか？

班活動では、自分の意見を聞いてもらえたかについて、「はい」が76.5%で最も多く、「まあまあ」(20.6%)と合計すると97.1%とほとんどが『はい』と回答している。一方、「あまり」は2.9%で、「いいえ」は0%だった。

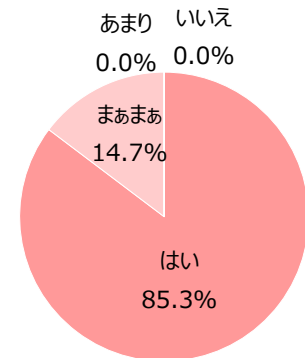
〔⑤ 班活動では、自分の意見を聞いてもらえたか？ N=34〕



⑥ 進行役（市役所職員）は、発言したり、聴いたりするうえで手助けとなったか？

進行役（市役所職員）は、発言したり、聴いたりするうえで手助けとなったかについて、「はい」が85.3%で最も多く、「まあまあ」（14.7%）と合計すると100%と、全員が『はい』と回答している。

〔⑥ 進行役（市役所職員）は、発言したり、聴いたりするうえで手助けとなったか？ N=34〕

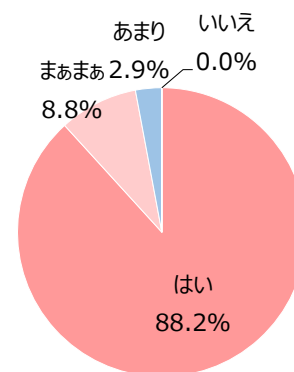




⑦ 公開講座を受けてよかったか？

公開講座を受けてよかったかについて、「はい」が 88.2%で最も多く、「まあまあ」(8.8%) と合計すると 97.0%とほとんどが『はい』と回答している。一方、「あまり」は 2.9%で、「いいえ」は 0%だった。

〔⑦公開講座を受けてよかったか？ N=34〕



⑧ 公開講座を受けて感じたこと、考えたこと

公開講座を受けて感じたこと、考えたことは以下のとおり。

〔公開講座を受けて感じたこと、考えたこと〕

学科	公開講座を受けて、感じたこと、考えたこと
生活デザイン科	将来どうするか、きちんと考えることが出来ました。
	垂水について深く考えることが出来た。
	良い勉強になった。
	公開講座を受けて、自分たちが残っていくなら、垂水はより良い町になってほしいと思いました。あと、地震のとき、市長さんや市役所の人が動けていたので良かった。今日の講座を受けて、いい経験になった。
	講座を受け、「今の若者、自分達が市の為にどのような手立てができるのか。」と思いました。そして、自分の意見がどうすれば聞いて貰えるのかなど、様々な事を学ぶことができたと思いました。
	今日の公開講座を受けて、今の垂水をよりよいものにしようとしていて、よりよい町になればいいなと思いました。
	ずっと、ただお店が欲しいなど、自分の事しか考えられない考え方を最初はしていたけれど、沢山の人の話を聞いて、何を増やすことで、何のプラスになるのかまで、深く考えることで、本当に垂水市に大事なものを皆で考えることが出来て良かったです。
	今日のことがあって、垂水はちょっと工夫したら暮らしやすいところになるのだなと思いました。これからは垂水のいいところを伸ばしていければいいなと思っています。
	垂水をもっと良くするために対策されている、地域の人々とも話し合いをしているということを知った。お店を作ってほしいという意見が出されていたが、せめて本屋が欲しい！
	今回の公開講座を受けて、垂水はまだ人が集まるために工夫していかないといけないのだなと思ったと同時に、たくさんの方が垂水のために工夫しようとしていて、とてもいい町だなと思いました。
	垂水市が今後どのようなようになるか分かりませんが、暮らしやすくなっていったら良いと思いました。
	3年間通った垂水についてよく話し合うことが出来た。
	垂水の事について、よく考えることが出来た。
	この講座でもっと垂水が良くなれば良いなと思いました。
	垂水がいい町になるといいです。
	普段、垂水のことを全然考えてなかったが、この公開講座を受けて、垂水について深く考えることが出来た。自分も垂水のことについて、意見を聞いて貰えて良かった。
	今回話し合ったことが今後 10 年の垂水市に役立ってほしいです。
	改めて垂水について考えることが出来た。
もっとお店が増えたらいいなと思いました。	

〔公開講座を受けて感じたこと、考えたこと（続き）〕

学科	公開講座を受けて、感じたこと、考えたこと
普通科	意外にも全ての班のまとめが似たような物になった。これらを市の方々に参考にしてもらって、全ての年齢層に住みやすいような垂水市をゆっくりでも良いので、作って頂きたいです。
	垂水について新しく発見できることもあった。「垂水のこれから」ということを考える機会はありませんでしたので、垂水のことをよく考えるいい機会になった。
	10年後、20年後、自分が垂水に戻ってきたときに今よりも住みやすい場所になっていたら嬉しい。
	意外とたくさん意見が出て、みんなで協力してまとめることが出来た。
	自分が今まで垂水に住んでいて、いい所、悪い所に気づけなかった。
	改めて垂水のことを考える良い機会となりました。これからの垂水に期待しています。
	今まで以上に垂水で暮らす、働くということを考えられたので、いい機会となった。
	自分の住んでいる垂水市について改めて考えることが出来た。事前に配られた資料の中に垂水市のパンフレットがあったが、写真が古かったので、新しいものにした方が良かったと思った。
	今まで普段どうすれば垂水はよくなるかということを受講など以外であまり深く考えたことがなかったので、考えを深めることが出来て良かった。自分の意見を述べることは大切だということ学んだ。
	いろいろな考えが出ていた。
	自分が県内か県外か決めていないので、今回のことをふまえて決めたい。
	いつか帰ってきたいと思う町にしてほしい
	垂水がよくなればいいなと思います。
	すごくいい勉強になりました。

以上